



AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業 シンポジウム2023

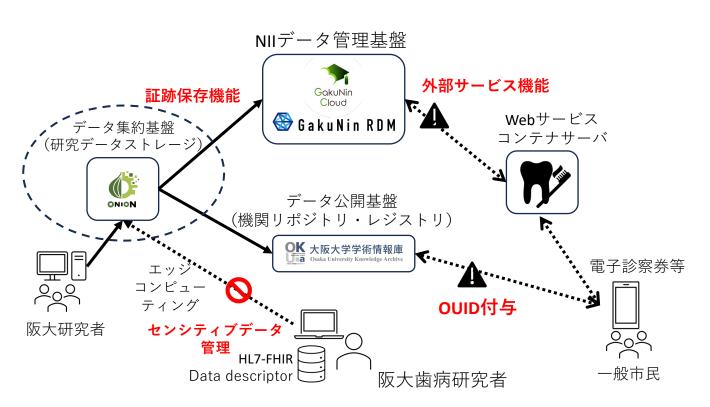
健康医療データの質を保証する 安全安心な医療Alサービス構築の プラットフォームの構築

研究代表者:林美加子(大阪大学歯学部附属病院)

研究分担者:野崎一徳、古々本一馬、清野雄多、岡真太郎(大阪大学歯学部附属病院)、甲斐尚人(大阪大学附属図書館)、伊達 進、田主英之(大阪大学サイバーメディアセ

ンター)

医療用AIの共同開発を目的として、歯科に関わるセンシティブデータを学内外の研究組織とGakuNinRDMを介して安全に共有する試みを行う。具体的には、学内だけでなく学外(一般市民等)とのデータ連携を想定して、異なるストレージサービス間でのデータ連携、証跡保存機能を使用したセンシティブデータの安全な管理、データ解析機能を使用したプロジェクトメンバー間の相互分析や成果再現による医療AIサービスのプラットフォームを構築する。このようなデータ共有における妥当性、効率性、先進性の評価指標として、データ転送のパフォーマンス、同期に要する間、セキュリティ・インシデント発生数の推移等を採用する予定である。また、データ共有に際して、研究に用いられるデータの質の確保を達成するため、医療「報の標準形式であるHL7-FHIRやDicom形式を可能な限り想定した手段を選択する。これによって、安全安心で質の保証が可能な歯科医療AIサービス構築のプラットフォームを構築するために最低限必要な基盤技術と理論を提案する。



広域分散歯科医療情報を用いた歯科用AIサービス開発・提供プラットフォームの構想図